キクプランドゥー

代表取締役社長　**菊田 壮泰** 氏

働きやすい環境整え採用にも注力
新工場建設し製造拠点を分散

―今期（1月期）を振り返って

2021年に社長を引き継いだ時点では、コロナの影響もあり厳しかったが、この4年で売上高は2年連続30%増もありつつ2ケタ成長を続け、倍以上の事業規模になっている。25年も26年に向けて堅調な伸びを維持した。

昨年後半は新米の販売価格が1・8～2倍に高騰した。当社は酒造業界に消耗品も販売している。買い控えがみられるなど、酒造業界の苦しさが消耗品の販売実績から伺えたため、お世話になっている酒造業界に何か恩返しをしたいと考えている。

―特に好調な製品は

搾った後のお酒を管理する設備群が堅調に動いている。同じ蔵に別のラインで採用される動きもある。口コミで採用が増える傾向にあり、今までよりも導入の段階上がった。この「ヒートリード十」をはじめ、品質を向上できる自動化設備の需要が高まっている。各蔵が輸出する場合にも、生酒に近い品質で届けられる一助になっていると期待している。

「ヒートリード十」は昨年夏に、より自動化できるように改良を加え、火入れの精度や省力化の効果が数段階上がった。この「ヒートリード十」をはじめ、品質を向上できる自動化設備の需要が高まっている。各蔵が輸出する場合にも、生酒に近い品質で届けられる一助になっていると期待している。

―26年の見通しを

酒米の価格は元に戻ることはない。上がった額の半分くらいで落ち着くという見通しもあるが、不安はあるが、不安はあるが、不安は